

# 教育補助講師による外国人留学生のための 日本語論文添削指導

大学院に在籍する外国人留学生を対象として、論文\*の添削指導を行っています。  
留学生のみなさんは、この指導を積極的に受けて、日本語上達に役立ててください。

\* 学位請求論文を執筆するまでに、たくさんの研究報告（発表）や紀要論文を書くはずですが、  
研究計画や、書き始めたばかりの論文でも構いません。早い段階から、こまめに添削指導を受ける  
のが大切です。

## 1) 指導内容

論文における「日本語表現」のみです。

\* 論文の内容に関する指導ではありません。（指導教員の先生に相談してください。）

本制度は、いわゆる添削の委託のような、論文全体を添削するものではありません。

留学生が執筆した論文の日本語表現を、博士学位を有する教育補助講師が添削し、その修正箇所をもとに、正しい日本語表現を指導するものです。

留学生が本制度を繰り返し利用するなかで、正しい日本語表現を用いて論文を執筆できるようになることを目的としています。

## 2) 指導時間

1回の指導は、「添削：60分」と「指導：30分」の合計90分です。（原則）

\* 混雑している場合は、一人あたりの指導時間を制限することがあります。

また、前の方の指導が終了するまでお待ちいただくか、別の日に再度、来室していただくこともあります。

\* 修士論文提出時期等の混雑時には、予約制をとることがあります。

### 3) 実施スケジュール

指導を実施している日時は、掲示板や指導室の前に掲示しているカレンダーで確認してください。

また、大学院のホームページにも、「『日本語論文添削指導』●月の予定」として、掲載しています。

### 4) 実施キャンパス

駿河台キャンパス，和泉キャンパス，中野キャンパス

\* いずれのキャンパスでも指導を受けることができます。

\* 指導室は変更になる場合もありますので，掲示等でご確認ください。

### 5) その他

◇ 1回の添削指導で扱えるのは，A4版の原稿で最大3枚程度です。

「論文が全部できあがってから…」ではなく，「出来た部分から少しずつ」添削指導を受けるようにしてください。

◇ 論文を書くのに必要な日本語を学びたい方は，「日本語論文指導講座\*」の受講を強くお勧めします。

どうぞ本添削指導を積極的に利用し論文作成に役立ててください。

大学院事務室